

## 瀋陽駐在員事務所

### 「貸金会社」

最近、一年前にはなかったものに悩まされるようになりました。至る所で携帯電話番号の入った名刺を配っているため、致し方ない所もあるのですが、セールスの自動音声電話や SNS メッセージが夜中、早朝、時間を選ばず容赦なく押し寄るようになりました。中でも最近目立つのが「少額貸金」（小口消費者金融）のセールスです。私の携帯電話は、多い時は 1 日 5 ~ 6 件、このような SNS メッセージを受信します。

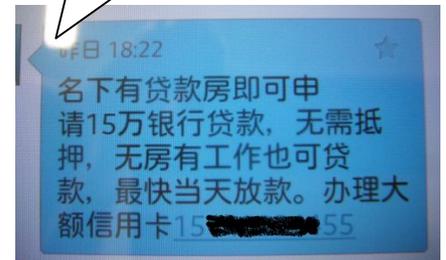
新聞報道によると、瀋陽市では今年上半期で新たに 1,403 名が、「貸金会社」を新たに開業したそうです。以前伺った日系の消費者金融会社の話では、「中国ではデフォルト率は明らかに日本より高いが、利鞘もそれなりにあるので...」とのこと。因みに、こうした SNS を使ったローンのセールスで謳っているレートは、7%~8%が多く、無担保・無保証、自動車担保など形態も様々です。預金金利が下がっていることもあり、理財商品の売れ行きも比較的好調で、こうした資金の運用と株式や消費者金融の増加にも無関係ではないようにも思えます。

中国では景気は減速中ですが、人件費は未だに 8%~10%程度の伸びを続けています。所得が右肩上がりに増えている状況では、個人消費は堅調で、こうしたローンは手軽に利用し易い環境と言えますが、経済成長の鈍化が更に進み、所得の伸びが止まり、かつての日本のようになった時どうなるか、色々と考えさせられるものがあります。

（自己）名義の不動産があれば、即 15 万円の銀行融資申込可、担保不要、不動産無しでも、仕事をしていれば融資可、最速本日実行。

限度額の大きなクレジットカード取扱

（電話）×××



SNS で送られてきた消費者金融セールス

南 敏律

## ユジノサハリンスク駐在員事務所

### 【日口親善ソフトボール大会】

先週末、サハリンの野球チームと「日口親善ソフトボール大会」が開催されました。現在のサハリン野球連盟は 2004 年に発足。元々の母体は 90 年代に日本人から野球用具の贈呈を受けた第 16 番学校の生徒達が卒業後の今も野球を続けて、現在に至っています。

一方、日本側はサハリン日本人会の即席チームです。急遽、集めた割には高校球児も何人が居り、私を含めた 50 歳代も少年時代は空き地での野球経験が功を奏し、中々の強力チームが編成できました。試合は 2 試合行なわれ、1 回戦目は動きも鈍く、転倒あり、トンネルあり、暴投ありの結果、“5-10”で惜敗。ところが、2 回戦目に入ると日本チームに締りができ、“3-1”で勝利。因みに、私は 4 打数 2 安打とチームにやや貢献。当日は地元 TV 局も取材に入るなど、ちょっとした話題となりました。

ロシアは野球人口が極めて少なく、練習設備も不十分で、お世辞にも上手とは言えず、このため我々も楽しくプレーすることが出来ました。試合後、打撲、骨折、捻挫等の怪我無く終わってホットしています。今回の試合が契機となり、こうした練習試合を継続し、他に、野球本場のアメリカチーム、韓国チームとも試合が出来る「サハリン国際リーグ」を是非、目標にして行きたいと思います。



日口交流親善ソフトボール大会



サード強襲ヒットの瞬間

三上 訓人

## ウラジオストク駐在員事務所

### ウラジオストクでのクルージングと養殖所訪問について



ルースキー島へクルージング



養殖ナマコ

6月末の日曜日、当地駐在の日本人13名がウラジオストク中央広場近くの船着場へと集合。今回は、7月初めに日本へ帰国する方の送別会を兼ねたクルージングとナマコ・ホタテの養殖所視察に参加しました。

正午過ぎにクルーザー船に乗り込み、出航、目的地であるルースキー島へと向かいます。途中で船の上階に上り外の景色を眺めたりしましたが、厚着をしてはいたものの、生憎の曇天、強風で肌寒い状況。天気良ければ、さわやかな海風を感じながらのクルージングになったと思われませんが残念です。約50分のクルージングの後、養殖所に到着。そこで養殖所の方から15分ほど養殖について説明を受けた後、別の船でナマコ・ホタテを沈めているポイントへ。沈めているカゴを引き上げるとそこにはホタテの稚貝や稚ナマコが。養殖途中であるためまだまだ小さいですが、これから時間をかけカゴの中で出荷できるサイズへと成長させるようです。参加者の中にホタテの養殖に詳しい方がいらっしゃったので話を聞くと、北海道でのホタテ養殖にくらべるとこちらの養殖方法は若干遅れているようです。また、報道によると中国の水産養殖会社大手が当地を訪問し、養殖事業に意欲を示しているとのことでした。

今後ホタテやナマコなどの養殖事業がウラジオストクで活発に行われる日が来るかもしれません。

伊藤 清平

## カシコン銀行

### 「バンコクに雪？」



スノータウン入口



スノータウン内部

東南アジアではインドネシアに次いで、2ヶ国目となる雪のテーマパーク「スノータウン」が7月にオープン致しました。バンコク中心部を走るBTSというスカイトレインの駅直結で、日本人街でもあるエカマイのゲートウェイという商業施設内に雪を降らせてしまいました。The Daily NNA（タイ版）によると、3,000㎡のスペースに750㎡分を雪のスペースに、2,250㎡分をテナントスペースとして確保したとの事です。小樽の街を模したテーマパークであり、約400tの人口雪を囲むようにテナントが入っています。人口雪のスペースにはそりやスキー遊びも体験出来、周囲のスペースでは浴衣試着等も体験出来るというタイ人の「楽しむ」という気質を十二分に考慮された仕組みとなっています。

私自身もグランドオープンセレモニーをはじめ、何度か足を運びましたが、比較的タイ人の利用が多い印象を受けました。常夏のタイにとって「雪」というイメージは強烈で、北海道を旅行するタイ人の最も大きな理由の一つにもなっていることを、このスノータウンを視察して改めて感じました。このような施設を通じ、北海道がタイ人にとって、より身近な場所になることを心から願っております。

伊藤 彰浩

## 日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

### 中国の EC(電子商取引)市場



自宅に届いた商品



北京市内の配送車  
(小型の三輪車が一般的です)

日本では食料・日用品等は店舗で買われるのが一般的かと思いますが、ここ中国・北京ではネットショッピングがとても便利です。小職は北京に着任し3ヶ月が経ちましたが、今では買い物の大部分がネットによるものです。

利用する理由としては「価格が安い」、「出かなくていい」等、日本と同じ面もちろんありますが、特筆すべき点は配送スピードの早さです。

小職が利用しているネットショップでは11時までの注文であれば当日中に配送(一部地域は翌日配送)され、100元(2,000円)以上の注文で送料が無料になります。

支払いは各種ネット決済に対応している他、金額に関わらず着払いが無料で利用できるため、ネットのセキュリティに不安を持つ方でも安心して買い物ができます。利便性が高いことから、今では飲料を始め、カップ麺、洗剤、ティッシュ等など、ありとあらゆるものをネットで購入しています。

中国の2010年の社会消費品小売総額に占めるネット小売取引額の割合は3.3%に過ぎませんでしたが、2014年には10.8%と急速にEC市場が拡大しています。2020年には20%を超え、世界最大の小売市場かつ世界最大のEC市場を形成するとも言われています。

小笠原 宅麻